

5 名古屋の産業小史－1

Brief History of Industry in Nagoya

(注：「◎」は工場立地関係)

名古屋 (名古屋圏)	世界・全国
M7	
M11	
M14	
M18	
M20	
M22	
M24	
M25	
M27	
M28	
M29	
M30	
M33	
M35	
M37	
M38	
M39	
M40	
M41	
M43	
大正前半	
T3	
T5	
T7	
T8	
T9	
T10	
T11	
T13	
M10	
M11	
M12	
M13	
M15	
M21	
M23	
M24	
M27	
M28	
M29	
M35	
M37	
M39	
M40	
M42	
M43	
M45	
T3	
T6	
T7	
T9	
T12	

5 名古屋の産業小史-2

Brief History of Industry in Nagoya

(注：「◎」は工場立地関係)

名古屋 (名古屋圏)		世界・全国	
T14	・(社)名古屋放送局 (JOCK) 放送開始	T14	・治安維持法公布
T15	◎豊田自動織機製作所、刈谷に立地		・普通選挙法公布
S2	・愛知電気鉄道、名古屋―豊橋間全通	S2	・金融恐慌
S3	・御大典奉祝名古屋博覧会 (鶴舞公園にて)	S3	・日本商工会議所設立
		S4	・世界大恐慌
S5	・中川運河完工 (T15起工、延長8km、最大幅員100m)		
	・大岩名古屋市長が名古屋 (中京) テトロイト構想を提唱	S6	・満州事変
S7	◎国産乗用車「アツタ号」、関連4社の協力で完成	S7	・上海事変
	◎庄内川レーヨン (現東レ愛知工場) 西区庄内町に設立		
S8	◎矢作工業 (現東亜合成) 昭和町に設立	S8	・国際連盟脱退
S9	・人口100万人突破		・ニューディール政策実施(米)
	・豊田自動織機(現トヨタ自動車) でA型エンジン完成		
S11	◎日本特殊陶業、高辻町に設立	S11	・2.26事件
S12	・名古屋汎太平洋平和大博覧会 (港区港明付近が会場となった)	S12	・日華事変
	・名古屋市工業指導所 (現名古屋市工業研究所) 熱田区に設立		・日中戦争始まる
	◎トヨタ自動車工業、豊田市 (旧挙母町) に立地		・南京事件
S13	◎三菱重工業名古屋発動機製作所、東区大幸町 (鐘紡跡) に立地	S13	・国家総動員法公布
	・関西急行電鉄 (現近鉄)、名古屋―大阪間全通		
	◎戦時体制下で繊維等民需工場の軍需工場化が広範に進展		
S14	・名古屋帝国大学発足 (医・理工学部)	S14	・第2次世界大戦
S16	◎名古屋造船 (現石川島播磨重工業愛知工場)、港区昭和町 (7号埋立地) に立地	S16	・太平洋戦争
	・愛知・名古屋・伊藤銀行合併して東海銀行設立		
S17	・中部日本新聞社 (現中日新聞社) 設立	S17	・初の直接税11億円増税法案要綱発表
			・金融統制団体令公布
S18	◎東京芝浦電気名古屋工場、西区葭原町 (中央紡績押切工場跡) に立地	S18	・軍需会社法成立
S19	・北・栄・瑞穂区を設置 (13区制実施)	S19	・中学生徒の勤労動員大綱決定
	・名鉄、豊橋―新岐阜間直結		・紙不足により全国の新聞夕刊廃止
	・名古屋も21回にわたり空襲を受け大被害を受ける (～S20)		
	・小牧飛行場 (後の名古屋空港) 建設		
S20	・中・栄両区を合区 (12区制実施)	S20	・終戦
	◎終戦後、罹災工場も平和産業としてしだいに復活		・国際連合発足
			・財閥解体令
S21	・名古屋市戦災復興土地区画整理事業区域決定	S21	・戦後初の総選挙 (婦人参政権)
			・日本国憲法公布
S23	・名古屋市信用保証協会設立		
S24	・愛知県工業指導所、千種区花田町に設立	S24	・1ドル=360円に決定
	・名古屋市中央卸売市場本場、熱田区川並町に開場		・経済安定政策「ドッジ・ライン」公表
			・GHQが自動車の生産販売制限全面解除に関する覚書を発表
S25	・トヨタ自動車販売 (株) 設立	S25	・朝鮮動乱
			・特需景気始まる (～S26)
S26	・工場の誘致条例 (工場等に対する固定資産税減免措置条例) 公布 (S39廃止)	S26	・サンフランシスコ平和条約
	・愛知県工場誘致委員会発足		・九電力発足
	・名古屋港管理組合発足		・日米安全保障条約調印
	◎帝人(株)名古屋工場、南区東又兵衛町 (岡本工場跡) に立地。ほかに三井東庄工業(株)、三菱モンサント化成(株)などの化学工場が立地		・民間放送開局
S27	・日本陶磁器輸出組合設立・名古屋空港開港	S27	・イラン石油国有化法成立
	・工業技術院名古屋工業技術試験所、北区平手町に設立		
S28	・国鉄東海道線 (名古屋―浜松間) 電化完成	S28	・NHKテレビ本放送
S29	・名古屋テレビ塔完成	S29	・神武景気始まる (～S32)
S30	・隣接6カ町村編入 (現天白区、名東区及び西区・北区の北部、中川区・港区の西部)	S30	・ガット加盟
	・第1回名古屋まつり開催		

5 名古屋の産業小史－3

Brief History of Industry in Nagoya

(注：「◎」は工場立地関係)

名古屋 (名古屋圏)	世界・全国
	S31 ・国際連合加盟
S32 ・地下鉄、名古屋一栄町 (現栄) 間営業開始	S32 ・第2次中東戦争
S33 ・名古屋市公害対策協議会発足	S33 ・EEC発足
◎東海製鉄 (現新日本製鉄名古屋製鉄所) 設立	S33 ・岩戸景気始まる (~S36)
・名古屋市中心卸売市場高畑市場開場	
S34 ・伊勢湾台風、東海地域に大災害をもたらす	
S35 ・小牧飛行場第二種空港に指定 (名古屋空港)	S35 ・国民所得倍増計画閣議決定
・豊田中央研究所、天白区久方町に設立	S36 ・世界初の有人衛星打ち上げ (ソ連)
S36 ・名古屋市工業用水給水開始	S36 ・ベルリンの壁構築
・名古屋市小規模事業金融公社創設	S37 ・「新産業都市建設促進法」制定
・愛知用水通水	・キューバ危機
◎東海製鉄、冷延工場創業開始	S37 ・「全国総合開発計画」閣議決定
◎富士機械製造、西区から知立市へ移転	S38 ・中小企業基本法
◎中央可鍛工業(株)、工場を日進町へ移す	
S38 ・守山市と鳴海町を編入	
・名四国道開通 (港区一四日市間)	
・東三河地区、工業整備特別地域に指定	
S39 ・愛知県公害防止条例施行	S39 ・観光目的の海外旅行自由化
◎東海製鉄第1号高炉完成	・OECD加盟
・有松町・大高町を編入 (以後編入は行われていない)	・「工業整備特別地域整備促進法」制定
・国鉄東海道新幹線、東京―新大阪間開業	・東京オリンピック開催
◎石川島播磨重工業名古屋造船所設立	S40 ・ベトナム戦争本格化 (北爆開始)
・新名岐バイパス (名古屋～一宮間) 開通	・40年不況
S40 ◎山崎鉄工所本社工場 (現ヤマザキマザック)、熱田区から丹羽郡大口町へ移転	・いざなぎ景気始まる (~S45)
・名神高速道路全通 (小牧―西宮間190km)	S41 ・日本の総人口1億人突破
S41 ・名古屋空港に国際線開設	
・中部圏開発整備法成立 (7月施行)	
・吹上ホール完工	
S42 ・地下鉄、栄―金山間営業開始	S42 ・EC成立
・東海製鉄と富士製鉄合併	・ASEAN結成
(S45富士製鉄と八幡製鉄合併して新日本製鉄発足)	・第3次中東戦争
S43 ・豊川用水通水	
◎荒川車体工業(株)、本社工場を南区から豊田市へ移転	
・市立名古屋ユース・ホステル開館 (H18閉鎖)	
S44 ・地下鉄、中村公園―藤ヶ丘間営業開始	S44 ・「新全国総合開発計画」閣議決定
・東名高速道路全通 (東京―小牧間347km)	・アポロ11号月面着陸
S46 ・地下鉄、金山―名古屋港間営業開始	S45 ・日本万国博覧会大阪で開催
・地下鉄、市役所―大曽根間営業開始	S46 ・ニクソンショック
◎名古屋プライウッド(株)、本社工場を港区から海部郡へ移転	
S47 ・工業再配置促進法で名古屋のほぼ旧市域が「移転促進地域」となる	S47 ・札幌オリンピック開催
・名古屋市消費生活センター開所 (10月)	・沖縄が日本に復帰
・中央自動車道 (多治見―小牧間) 開通 (10月)	・田中通産相「日本列島改造論」発表
	・「工業再配置促進法」制定

5 名古屋の産業小史－4

Brief History of Industry in Nagoya

(注：「◎」は工場立地関係)

名古屋 (名古屋圏)		世界・全国
S48	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市公害防止条例施行 ◎石川島播磨重工業知多工場 (名古屋港南部臨海工業地区、南3区) 開所式 ・名古屋市国際展示場、金城ふ頭に完成 ・国鉄中央本線全線電化完成 	S48 <ul style="list-style-type: none"> ・円「変動相場制」に移行 ・第4次中東戦争 ・第1次石油ショック起こる
S49	<ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄、金山―新瑞橋間営業開始 ・市電全廃 (M31 創設以来76年目) 	S49 <ul style="list-style-type: none"> ・産業構造審議会 「わが国産業構造の方向」 まとめる ・日中貿易協定調印
S50	<ul style="list-style-type: none"> ◎ユニチカ名古屋工場 (緑区、現市営森の里住宅) 閉鎖 ◎昭和染工 (東区大幸町) 事業閉鎖 ◎中部旭紡績名古屋工場 (千種区猪高町)、半田市へ移転 ・有松・鳴海絞り、国の伝統的工芸品に指定される ◎利川製鋼 (中川区福川町)、破産宣告 	S50 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回先進国首脳会議 (ランブイエ)
S51	<ul style="list-style-type: none"> ◎東洋工機 (北区上飯田南町)、岐阜県加茂郡へ移転 ・中央自動車道、小牧―伊北間開通 ・名古屋仏壇、伝統的工芸品に指定される 	S51 <ul style="list-style-type: none"> ・ロッキード事件
S52	<ul style="list-style-type: none"> ・知多LNG共同基地に専用運搬船初入港 ・愛知機械工業松阪工場、鋳物生産開始 ◎三菱自動車工業岡崎工場完成 ・愛知県の工業出荷額、大阪府を抜き全国第1位 	S52 <ul style="list-style-type: none"> ・昭和60年を目標とした 「工業再配置計画」決定 ・「第三次全国総合開発計画」 閣議決定
S53	<ul style="list-style-type: none"> ◎帝人名古屋工場 (南区東又兵衛町)、操業停止 (8月) ・名鉄瀬戸線、栄乗り入れ (8月) ・地下鉄、八事―赤池間営業開始 (10月) ・セントラルパーク地下街開店 (11月) ・豊田市の工業出荷額、名古屋市を抜き県下第1位 	S53 <ul style="list-style-type: none"> ・日中平和友好条約締結
S54	<ul style="list-style-type: none"> ◎トヨタ自動車工業田原第1工場小型トラック生産開始 (7月) ◎住友アルミニウム精練名古屋工場 (港区)、精練部門設備凍結 (57・9月鍛造品部門停止、名古屋事務所に組織替え) ・名古屋都市高速道路、大高一円上間10.9km開通 (7月) ・地下鉄鶴舞線と名鉄豊田新線相互直通運転開始 (7月) 	S54 <ul style="list-style-type: none"> ・アフガン戦争 ・第2次石油ショック起こる (イラン政変) ・東京サミット開催
S55	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市基本計画 (昭和55年度～65年度) 策定 (1月) ・北陸自動車道、敦賀―米原間 (46.6km) が開通し、名神高速道路と直結 (4月) ・名鉄知多新線全線開通 (6月) ・伊勢湾水質総量規制スタート (7月) ◎曾我ガラス(株)、工場を小牧市へ移転 (7月) ・豊田中央研究所、愛知郡長久手町に移転 (10月) ◎日本電装、三重県員弁郡大安製作所の起工式 (10月) ・オリエンタル中村百貨店、名古屋三越と改称 (10月) 	S55 <ul style="list-style-type: none"> ・イラン・イラク戦争本格化 ・自動車生産台数世界一に
S56	<ul style="list-style-type: none"> ◎日東石膏、本社工場 (中川区) を閉鎖し、本社を築地工場 (港区) へ移す ・名古屋桐箆筒、伝統的工芸品に指定 (6月) ・愛知県工業指導所、刈谷市へ移転、工業技術センターと改称 (6月) ・地下鉄、伏見―浄心間営業開始 (11月) ・豊田市の工業出荷額、名古屋市を抜き、53年に次いで再び県下第1位 	S56 <ul style="list-style-type: none"> ・ポートピア'81開幕 ・第二臨調発足 ・1ドル=200円突破

5 名古屋の産業小史－5

Brief History of Industry in Nagoya

(注：「◎」は工場立地関係)

名古屋 (名古屋圏)	世界・全国
<p>S57</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ自工とトヨタ自販、合併してトヨタ自動車に (7月) ・地下鉄、中村公園一高畑間営業開始 (9月) ・シスター・シティ・フェア名古屋'82開催 (10月) 	<p>S57</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北・上越新幹線開業
<p>S58</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋中央卸売市場北部市場開場 (枇杷島市場閉鎖、3月) ・ニューセラミックスフェア'83名古屋で開催 (3月) ・名古屋港オーストラリア、フリマントル港と姉妹港提携 (4月) ・名古屋空港、国際定期便 (サイパン・グアム路線) 就航 (4月) ・名古屋友禅、名古屋黒紋付染、伝統的工芸品に指定 (4月) ・名古屋市中小企業振興会館、千種区吹上二丁目に開館 (10月) ・名古屋市中小企業情報センター開設 (10月) 	<p>S58</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関初めて第2土曜日休日制を実施 ・日本初の実用通信衛星「さくら2号-α」の打ち上げ ・〔通称〕テクノポリス法 制定
<p>S59</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋城博の開催 (9月～11月) ・地下鉄、浄心一庄内緑地公園間営業開始 (9月) ・名古屋国際センター、中村区那古野一丁目に開館 (10月) ◎富士通、三重県桑名郡多度町で半導体工場操業開始 (11月) 	
<p>S60</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋地区でキャプテン商用サービス開始 (3月) ・ワールド・インポート・フェア・ナゴヤ'85 (輸入博名古屋)、金城ふ頭で開催 (3～4月) ◎三菱重工業名古屋製作所大幸工場 (東区) 操業停止 (3月) ・ファインセラミックスの試験研究機関 (財)ファインセラミックスセンター (JFCC) 設立 (5月) ・名古屋都市高速道路、高辻一東新町間、鶴舞南一東別院間 (4.1km) 開通 (5月) ・名古屋市工業研究所内に電子技術総合センター開設 (11月) 	<p>S60</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学万博つくば'85開催 ・プラザ合意
<p>S61</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大須商店街連盟、中国・南京市内「夫子廟」商店街と姉妹提携 (10月) ・名古屋都市高速道路、千音寺一白川間 (7.3km) 開通 (10月) ・第41回国際青年会議所 (JCI) 世界会議開催 (11月) 	<p>S61</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女雇用機会均等法施行 ・国鉄改正法成立 ・平成景気 (バブル景気) 始まる (～H3)
<p>S62</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部ハイテクセンター開講 (4月) ・名古屋ファッション協会設立 (5月) ・名古屋都市高速道路、新洲崎一名駅出口間 (0.8km) 開通 (8月) ・名古屋市国際展示場2号館、イベント館開設 (9月) ・第14回国際中小企業会議開催 (10月) 	<p>S62</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〔第四次全国総合開発計画〕閣議決定 ・1ドル=150円突破 ・ニューヨーク株式市場で株価大暴落
<p>S63</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋環状2号線、清洲東一名古屋西間 (5.7km) 開通 (3月) ・名古屋都市高速道路、白川一吹上間 (2.7km) と山王一新洲崎間 (1km)、東別院一新洲崎間 (1.2km) 開通 (4月) ・(財)国際超電導産業技術研究センター名古屋研究室、ファインセラミックスセンター内に開設 (7月) ・名古屋市新基本計画公表 (8月) ・名古屋都市高速道路、楠一萩野間 (2.2km) 開通 (12月) 	<p>S63</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青函トンネル開業 ・瀬戸大橋開通 ・包括貿易法案 [スーパー301条] 可決 (米) ・〔通称〕頭脳立地法 制定
<p>H元</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ博物館長久手町に開館 (4月) ・岐阜県土岐市に核融合科学研究所が発足 (5月) ・中部ニュービジネス協議会発足 (6月) ・名古屋パルコ栄に開店 (6月) ◎笠寺ハイテク企業団地分譲 (6月) ・世界デザイン博覧会開幕 (7～11月) ・地下鉄桜通線 (中村区役所一今池間6.3km) 開通 (9月) ・久屋大通商店街とフランスのシャンゼリゼ大通の商店街が友好提携 (9月) ・中部航空宇宙産業技術振興協議会が発足 (10月) ・白鳥センチュリープラザ、名古屋市科学館、電気文化会館を会場に世界デザイン会議開催 (10月) 	<p>H元</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費税導入 ・天安門事件 (中国) ・ベルリンの壁崩壊 ・東欧民主化革命 ・日米構造協議 (～H2)

5 名古屋の産業小史－6

Brief History of Industry in Nagoya

(注：「◎」は工場立地関係)

名古屋 (名古屋圏)		世界・全国
H2	◎特別工業地区建築条例を一部改正し、市内での工場立地規制を大幅に緩和 (1月) ・名古屋国際会議場開館 (4月) ・(株)名古屋ソフトウェアセンター設立 (4月) ・(財)中部空港調査会が中部新国際空港基本構想を発表 (5月) ・(財)名古屋観光コンベンションビューロー設立 (10月)	H2 ・東西ドイツ通貨統合 ・東西ドイツ統一 ・イラク、クウェートに侵攻
H3	・第34回米州開発銀行 (IDB) 年次総会が名古屋で開催 (4月) ・(財)名古屋都市センター設立 (7月) ・初の官民共同ビル「中区役所朝日生命共同ビル」がオープン (8月)	H3 ・湾岸戦争勃発 ・ソ連邦の崩壊
H4	・名古屋圏における高速鉄道を中心とする交通網の整備に関する運輸政策審議会答申 (1月) ・(株)国際デザインセンター設立 (4月) ・名古屋港水族館、愛知芸術文化センターが開館 (10月) ・名古屋ビジネスインキュベータ (nabi/金山) 開館 (12月)	H4 ・欧州連合条約調印 (H5発効) ・「国会等の移転に関する法律」公布 ・PKO協力法成立 ・地球サミット
H5	◎川崎重工業 愛知県弥富町に航空機組立工場開設 (4月) ・中部航空宇宙産業振興協議会を解散し、(社)中部航空宇宙産業技術振興センター発足 (8月) ・理化学研究所名古屋研究センター開設 (10月) ・名古屋市国際展示場3号館・交流センター開設 (10月) ・東名自動車道、名古屋IC一勝川IC間 (11.0km) 開通、東名高速道路と直結 (12月)	H5 ・ウルグアイラウンド終結 ・EC12カ国統合市場スタート
H6	・地下鉄桜通線、今池一野並間開通 (3月) ・名古屋ガイドウェイバス設立 (3月) ・産業技術記念館西区に開館 (6月) ・名古屋国際会議場第2期整備完了 (10月) ・世界都市産業会議開催 (10月)	H6 ・所得税減税実施 ・1ドル=100円台を記録
H7	・尾張七宝、伝統的工芸品に指定される (4月) ・名古屋都市高速道路、萩野一東新町間 (4.3km)、丸の内一東片端JCT間 (1.6km) 開通。「都心環状線」が完成 ・世界インテリアデザイン会議 (IFI'95) 開催 (10月)	H7 ・世界貿易機構 (WTO) 発足 ・阪神・淡路大震災 ・1ドル=80円台を突破
H8	・(財)名古屋都市産業振興公社設立 (2月) ・国際陶芸アカデミー (IAC) 日本会議'96開催 (9月) ・デザインセンタービル竣工 (11月)	H8 ・病原性大腸菌O-157食中毒発生
H9	・三菱重工業大幸工場跡地にナゴヤドーム完成 (3月) ・名古屋能楽堂開館 (4月) ・志段味ヒューマンサイエンスパーク研究開発センター完成 (5月) ・2005年国際博覧会が愛知県に決定 (6月)	H9 ・消費税率引き上げ ・香港返還 ・地球温暖化防止京都会議 (COP3) 開催
H10	・伊勢湾岸自動車道、飛島IC一名古屋南IC間 (11.2km) 開通 (3月) ・ウェルフェア'98 (国際福祉健康産業展)、国際展示場で開催 (5月) ・栄町商店街とフランスのモンテーニュ通り商店街が友好提携 (5月) ・東海北陸自動車道一宮JCT完成、名神高速道路と直結 (12月)	H10 ・首都機能移転の調査対象候補地の設定 ・改正外国為替管理法施行、金融ビッグバンがスタート ・戦後最悪の不況、24兆円の緊急経済対策
H11	・なごや交流年 ・第48回太平洋アジア観光協会 (PATA) 年次総会開催 (4月) ・名古屋ビジネスインキュベータ白金 (nabi/白金) 開館 (9月) ・デザインマネジメント国際会議'99名古屋開催 (10月) ・先端技術連携リサーチセンター開館 (11月) ・JRセントラルタワーズ竣工(12月)	H11 ・欧州統一通貨「ユーロ」導入 ・地域振興券交付 ・脳死移植、国内初の実施 ・東証「マザーズ」開設 (11月) ・中小企業基本法改正 (12月)

5 名古屋の産業小史－7

Brief History of Industry in Nagoya

(注：「◎」は工場立地関係)

名古屋 (名古屋圏)	世界・全国
<p>H12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR名古屋高島屋オープン (3月) ・中部TLO設立 (4月) ・中部国際空港工事着手 (8月) ・東海豪雨、新川が決壊し西区を中心に大きな被害 (9月) 	<p>H12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険がスタート (4月) ・中小企業支援法施行 (5月) ・大証「ナスダック・ジャパン」開設 ・2000円紙幣発行 (7月) ・九州・沖縄サミット (7月) ・白川博士にノーベル化学賞 (12月)
<p>H13</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドウェイバス「ゆとりーとライン」開業 (3月) ◎三菱自動車工業大江工場閉鎖 (9月) ・名古屋大学野依良治教授にノーベル化学賞 (10月) ・名古屋高速道路小牧IC—小牧南IC開通 (10月) 	<p>H13</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米中枢同時テロ発生 (9月) ・17年ぶりに株価1万円割れ (10月)
<p>H14</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海銀行と三和銀行が合併してUFJ銀行設立 (1月) ・「クリエイションコア名古屋」オープン (4月) ・名古屋高速道路小牧北IC開通 (4月) ・中部国際空港、対岸と結ぶ道路連絡橋でつながる (8月) ・テクノヒル名古屋立地企業公募開始 (8月) ・栄公園地区 (広場ゾーン) に立体型公園 (オアシス21) 完成 (10月) 	<p>H14</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成田空港暫定第2滑走路供用開始 (4月) ・サッカーワールドカップ開催 (5月) ・H2A 3号機打ち上げ成功 (9月) ・小柴昌俊博士にノーベル物理学賞、田中耕一氏にノーベル化学賞 (10月)
<p>H15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄上飯田線開業 (3月) ・名古屋高速道路大高IC～名古屋南JCT開通 (3月) ・名古屋高速道路四谷IC～高針JCT開通 (3月) ・松坂屋本店新南館オープン (9月) ・世界グラフィックデザイン会議開催 (10月) ・地下鉄4号線砂田橋・名古屋大学間の開業 (12月) 	<p>H15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジアを中心にSARS「重症急性呼吸器症候群」の感染が拡大 (2月) ・米軍によるイラク攻撃開始 (3月) ・日本郵政公社発足 (4月) ・パソコンリサイクル法施行 (10月) ・東海道新幹線品川駅開業 (10月) ・東京、大阪、名古屋地域で地上波デジタル放送スタート (12月)
<p>H16</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ自動車、平成15年の世界新車販売台数で米フォードモーターを抜き、世界第2位に (1月) ・中部国際空港への鉄道アクセスとなる「空港線」(常滑駅—中部国際空港) で初の試運転 (7月) ・地下鉄4号線名古屋大学—新瑞橋間の開業に伴い、全国初の地下鉄の環状運転が実現 (10月) ・名古屋駅と金城ふ頭を結ぶ「あおなみ線」開業 (10月) ・第11回 ITS世界会議愛知・名古屋2004開催 (10月) ・刈谷ハイウェイオアシス開業 (12月) 	<p>H16</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州新幹線「つばめ」部分開業 (鹿児島中央—新八代間) (3月) ・消費税の「総額表示」の義務化 (4月) ・欧州連合(EU)に中・東欧など10カ国が加盟、25カ国体制が始動 (5月) ・道路公団民営化法が成立 (6月) ・アテネオリンピック開催 (8月) ・新潟県中越地震 (10月) ・スマトラ島沖地震 (12月)

5 名古屋の産業小史－8

Brief History of Industry in Nagoya

(注：「◎」は工場立地関係)

名 古 屋 (名古屋圏)		世 界・全 国	
H17	<ul style="list-style-type: none"> ・文化のみち二葉館開館 (2月) ・中部国際空港「セントレア」開港 (2月) ・東部丘陵線「Linimo (リニモ)」開通 (3月) ・ラシック (LACHIC) (三越名古屋新店舗) オープン (3月) ・アスナル金山オープン (3月) ・東海環状自動車道の豊田東 JCT から美濃関 JCT までの間 (延長 73.0km)、及び伊勢湾岸自動車道の豊田東 JCT から豊田東 IC までの間 (延長 3.1km) が開通 (3月) ・新世紀・名古屋城博開幕 (3月～6月) ・2005年日本国際博覧会 (愛・地球博) 開幕 (3月～9月) ・名古屋市産業活性化プラン策定 (3月) ・名古屋港イタリア村オープン (4月) ・名古屋医工連携インキュベータ開館 (12月) 	H17	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護法施行 (4月) ・ベイオフ全面解禁 (4月) ・兵庫県尼崎 J R 脱線事故発生 (4月) ・ロンドン同時多発テロ発生 (7月)
H18	<ul style="list-style-type: none"> ・UFJ銀行と東京三菱銀行が合併し、三菱東京UFJ銀行設立 (1月) ・COMBi本陣開設 (4月) ・トヨタ自動車、J R 東海、中部電力による「海陽中等教育学校」開校 (4月) ・ATRS 航空輸送に関する国際会議 (5月) ・「名古屋駅・栄・金山・藤が丘」の4地区が路上禁煙地区に指定喫煙者に2,000円の過料 (7月) ・ミッドランドスクエア 高層棟開業 (10月) ・「ロボットミュージアムin名古屋」開催 (10月) ・メッセナゴヤ2006～環業見本市開催 (10月) 	H18	<ul style="list-style-type: none"> ・トリノ冬季オリンピック開催 (2月) ・サッカーワールドカップドイツ大会開催 (6月) ・スペースシャトル デイスカバリー打ち上げ (7月)
H19	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋ルーセントタワーオープン (1月) ・ミッドランドスクエア 商業棟開業 (3月) ・国土形成計画シンポジウム「国際競争力を有する中部のかたち」を開催 (3月) ・国道23号岡崎バイパスのうち、幸田芦谷 IC ～幸田須美 IC 間 (5.5km) が開通 (3月) 	H19	<ul style="list-style-type: none"> ・防衛省発足 (1月) ・能登半島地震 (3月) ・新潟県中越沖地震 (7月) ・郵政民営化 (10月)